

河田正一市政ニュース

2014.1.18 No.37

発行人 河田正一

岡山市北区御津高津874

☎ 086-724-0895

http://k.okjcp.jp/

◎御津虎倉産廃勝訴!



岡山市議会議員 河田正一

あけまして

おめでとう

ございます

今年も皆さんとともに
駆け回ります。

御津虎倉に西日本アチユーマツトクリーンが建設中の産廃処分場をめぐり、地元住民が起こしていた裁判の控訴審で、昨年12月26日に「建設差し止め」判決が出ました。住民は安心して飲める水と農業を求めて13年間運動を続けてきました。差止の理由は、下流に浄水場があり、有害物質が混入すると除去できない。集中豪雨時は浸出液調整池の容量を超える。雨の時3・7ヘクタールの処分場をどのようにしてシートで覆うのか、又、容

量を超した場合バキュームカーで排出するとして、いるが何台を調達するか、排出可能量がいくらかなどが明らかでない。よって、雨水対策が十分でなく、「有害物質が流出する蓋然性が高い」として画期的判決が下されました。しかし、業者が上告したため、判決は確定には至っていません。住民の粘り強い運動が勝利の判決を呼んだことに確信を持ち、最高裁へ上告棄却要請ハガキ行動などもうひと踏ん張りが求められます。

◎消防署充実

北消防署御津出張所は、夜間4人しかいないくて、家火事で負傷者が出る消防車と救急車が同時出動できないため、遠くからの救急車の応援が必要でした。改善を強く求めてきたところ、昨年末から夜間も6人体制となり、同時出動が可能となり



御津出張所

ました。安心の度合いは高まりましたが、火災を起こさないように火の用心に心掛けましょう。

◎老人福祉センターまでバス延伸

御津老人福祉センターは、中学校と並んで丘の上にあります。車を運転しない人にとっては使いにくい施設です。コミュニティバスの乗り入れについて、4月から一部のバスが乗り入れることになりました。車に乗らない人も、老人福祉センターでの行事に参加し易く

なり、活用が増える時期待します。



御津老人福祉センター

◎市長に要望

日本共産党岡山市議団は大森新市長になって最初の交渉を行い、2014年度予算編成に向けて「市民のいのちとくらしを守る」ため201項目の要望をしました。これには、金谷・橋本両副市長も同席し、わが党市議団と懇談しました。また、教育委員会とも別途交渉し、教育長・教育次長などと懇談しました。



市長・副市長と懇談



11月議会質問

◎比重で論理のすり替え



御津河内産廃処分場は70%を廃プラが占め、直高90メートルにもなる処分場です。廃プラの比重は軽いので、集中豪雨時には浮き上がり、崩壊の可能性が高いと私は追求しています。しかし、環境局長は軽いものは崩れにくいと答弁をします。比重が1を超えていればその論は成り立ちますが、比重0.65と推定されるこの処分場では、この論は成り立たないと考えます。全国の処分場の事例では、比重は1.17〜2.0の間にあり、1以下の事例はありません。



建設申請が、12月20日にされました。御津虎倉裁判では、市の審査が甘いことが証明されましたが、安定型処分場は安定5品目以外の付着物の搬入は避けられないことは全国の判例からも明らかです。下流への汚染水の流出は、市民の飲み水となる三野浄水場への有害物流入になります。多くの意見書を提出し、計画が不許可となるようになりましょう。意見書の提出期限は2月7日です。

◎子どもの読書推進

活字に触れる機会が少ない児童・生徒は学校で教科書がスラスラ読めない。したがって内容を理解することが難しく。学力低下の大きな要因です。そこで、早い時期での本を読む習慣を身に着けることが望まれます。幼児期での本に親しむ習慣が大切です。御津図書館で

は幼・保と連携して子どもたちに本を届けています。岡山市の図書館活動は全国的に評価されていますが、さらに進めるため、移動図書館車を増やすことで財政的負担が少なく効果があるのではないか、など図書館の充実を求めました。

◎中高層建築物指導要綱

高層建築計画が住民とのトラブルになるケースがたびたび起こっています。岡山市の「中高層建築物の関する指導要綱」では、関係住民の範囲が狭すぎて、建築確認前に住民が知ることができないことがあります。他都市では、関係住民の範囲を建築高さの2倍程度として

よう求めました。

当局は「検討する」と回答しました。

いるところが多いので、岡山市の要綱を見直す



津島笹が瀬14階建てマンション計画地

◎富吉新斎場計画

富吉の産廃処分場跡地を斎場にするとして用地取得費等4億6千万円余が計上されました。市は「地元の一定の理解を得た」としています。しかし、平成24年9月中旬に富吉町内会役員に相談を持ちかけ、わずか2週間後に、1度も説明会も開かないうちに臨時総会により賛成多数で議決したというのが地元の同意を得たことになっています。斎場は必要なものですが、いわゆる「迷惑施設」です。ので、地元にはっきり説明をし、住民の多数の賛同を得ることは市の施設建設手順として当たり

前です。地元は120世帯のうち80世帯が反対署名をし、規約にのっとり臨時総会をして「反対」を決議しています。しかし、町内会長がこの総会を認めていないとして、市は無視をしました。しかも、産廃跡地を調査することもなく、宅地として購入することは、税金の使い方としても問題があります。

わが党は、本会議の質問、委員会審議、反対討論と一貫して、手順の誤りを指摘し、富吉町内会で再議決することを求めました。しかし、わが党以外は党派としてまとまった議案に反対はなく、予算は可決されました。

市政報告会

●2月6日(木)

10時〜12時

津高公民館 (北区栢谷)